

(様式第 10)

久大病(管)第 25 号
平成 27 年 10 月 2 日

厚生労働大臣 殿

学校法人 久留米大学
理事長 神代 正道 ㊟

久留米大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和 23 年法律第 205 号)第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒830-0011 福岡県久留米市旭町67番地
氏 名	学校法人 久留米大学 理事長 神代 正道

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

久留米大学病院

3 所在の場所

〒830-0011 福岡県久留米市旭町67番地	電話(0942)35-3311
----------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 <input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・無
内科と組み合わせた診療科名等 1 神経内科 2 呼吸器内科 3 消化器内科 4 心臓・血管内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・無
外科と組み合わせた診療科名 1 呼吸器外科 2 心臓血管外科 3 消化器外科 4 形成外科 5 小児外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 7産婦人科 ⑧産科 ⑨婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科口腔外科 2 小児歯科 3 矯正歯科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科 2 病理診断科 3 美容外科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
53床	床	床	床	972床	1,025床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	539人	人	539人	看護補助者	90人	診療エックス線技師	人
歯科医師	10人	人	10人	理学療法士	22人	臨床検査技師	75人
薬 剤 師	64人	人	64人	作業療法士	10人	衛生検査技師	人
保 健 師	人	人	人	視能訓練士	8人	その他	人
助産師	37人	0.8人	37.8人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	980人	9.6人	989.6人	臨床工学士	21人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	6人	人	6人	栄 養 士	1人	その他の技術員	41人
歯科衛生士	3人	0.5人	3.5人	歯科技工士	2人	事務職員	142人
管理栄養士	12人	人	12人	診療放射線技師	52人	その他の職員	52人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年9月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	14人	眼科専門医	12人
外科専門医	66人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精神科専門医	14人	放射線科専門医	19人
小児科専門医	33人	脳神経外科専門医	14人
皮膚科専門医	10人	整形外科専門医	13人
泌尿器科専門医	14人	麻酔科専門医	18人
産婦人科専門医	21人	救急科専門医	11人
		合 計	270人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	797人	17.6人	814.6人
1日当たり平均外来患者数	1746.7人	90.7人	1837.4人
1日当たり平均調剤数			1611.2 剤
必要医師数			186.95人
必要歯科医師数			8人
必要薬剤師数			28人
必要(准)看護師数			473人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	1546.99m ²	鉄筋 コンクリート	病床数	61床	心電計	○・無
			人工呼吸装置	○・無	心細動除去装置	○・無
			その他の救急蘇生装置	○・無	ペースメーカー	○・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 483.43m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	41床		
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] 床積 79.8 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	468.78m ²	〃	※別紙のとおり			
細菌検査室	198.36m ²	〃	※別紙のとおり			
病理検査室	108.98m ²	〃	※別紙のとおり			
病理解剖室	56.53m ²	〃	※別紙のとおり			
研究室	17744.17m ²	〃	パソコン			
講義室	1612.50m ²	〃	室数	17室	収容定員	1257人
図書室	2838.18m ²	〃	室数	6室	蔵書数	272,621冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	80.7%	逆紹介率	84.7%
算出根拠	A: 紹介患者の数		19,222人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		21,931人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,660人
	D: 初診の患者の数		25,880人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

主な設備

		機 器
化学検査室	生化学	グルコース(2台)
		グリコヘモグロビンHA-8181(2台)
		臨床化学自動分析装置 LABOSPECT008(緊急検査)
		臨床化学自動分析装置 LABOSPECT008
		自動浸透圧測定装置オズモステーション
		呼気中13CO2分析装置(POCONE ピロリ検査)
		ラピッドポイント500(2台) 血ガス
		自動分析装置ディメンション Xpand-HM
		血清
	自動化学発光酵素免疫分析装置 SphereLight wako	
	エンドトキシン、 β -グルカン測定装置トキシノメーター MT-5500、拡張モジュール2台	
	全自動蛍光免疫測定装置ミュータスワコー i30	
	バイダス30	
	ステーシア	
	全自動カテコールアミン分析計	
	全自動化学発光酵素免疫測定システム ルミナルスPresto II	
	免疫	
		全自動酵素免疫測定装置 AIA-360
		アーキテクトi2000 SR
	一般	コバス8000e602(2台)
		便潜血、尿中、髄液定量自動測定装置 QUICK RUN
	凝固	尿化学分析装置クリテック ノーバス
		移動式免疫発光測定装置 パスファースト
	輸血	全自動血液凝固分析装置コアプレスタ(2台)
		全自動輸血検査装置オートビュー イノーバ
	輸血	全自動輸血検査装置オートビュー イノーバ
		細菌検査室
ウォークアウェイ 96si(2台)		
TaqMan PCR検査システム「オート」システムB コバスAmpliPrep+コバスTaqMan48		
コバスTaqMan48		
自動同定感受性検査装置 バイテック2コンパクト60		
病理検査室	病理検査	自動培養自動分析バクテックFX Stack400
		密閉式自動固定包埋装置(VIP6)
		自動特殊染色装置(Ventana NX-SS System)
		自動免疫染色装置(Ventana BenchMark XT)
		自動免疫染色装置(ライカボンドIII)
		自動HE染色装置(Ventana Symphony)
病理解剖室		自動染色装置(サクラティッシュテックDRS-2000)
		解剖台
		カメラ、モニター

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	脳保護を目的とした低体温療法	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要 体温を軽度低体温に維持することで心肺停止蘇生後や重症頭部外傷での脳保護をねらう医療技術。導入期・維持期・復温期を通して鎮静下に人工呼吸器管理、循環管理を行うため、極めの細かい集中治療の装置とマンパワーを必要とする。			
医療技術名	ミトコンドリア脳筋症(MELAS)に対するL-アルギニン治療	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 ミトコンドリア脳筋症の一病型であり脳卒中様発作を主徴とする難病MELASの治療については、世界的にみて有効な治療法は見いだされていない。古賀靖敏を主任研究者とするL-アルギニン療法は、MELASの急性期治療および発作寛解期の脳卒中様発作の予防治療として注目されており、現在、医師主導治験が終了し、承認申請を行っている。この治療法は、臨床研究として、久留米大学で医師主導治験を行っており、現在もその治療を継続している。この治療法で2つの特許を取得している。			
医療技術名	ミトコンドリア脳筋症の遺伝子診断	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 臨床的にミトコンドリア脳筋症を疑われた症例のミトコンドリアDNAの検索依頼が全国の臨床施設からなされ、久留米大学医学部小児科の研究室でDNAを分離し、点変異の解析および、16.6kbのミトコンドリアDNAの全塩基解析を行っている。			
医療技術名	ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するピルビン酸ナトリウム治療法	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 高乳酸血症は、種々の難治性神経・代謝疾患で観察される重要な病態であるが、この治療薬は今だ世界に存在せず、その病態を踏まえた新しい治療薬の開発が熱望されている。ピルビン酸ナトリウム(PA)治療(Mitochondrion 2007;7:399-403)は、ミトコンドリア病の細胞モデルで細胞死を防ぐ効果があり、臨床研究でもジクロロ酢酸に勝る乳酸の軽減効果と臨床的有効性がある事を報告した。現在は、工業用試薬を使用しているが、最終的には医薬品として上市する計画で研究を進めている。効果的治療法が開発されなければ、細胞死が惹起され、患者では後遺障害、QOLの悪化、リハビリや社会復帰のための医療費増大などが起こる。この治療薬の開発は、患者のQOLを改善するのみでなく、患者の社会参加、医療費抑制、社会における経済効果の浮揚に大きく貢献できると考えられる。この研究は、国が定めた種々の指針を遵守し、特に医薬品開発を目的とした「医薬品の臨床試験の実施の基準に対する省令」を遵守し行う。			
医療技術名	ミトコンドリア病のスクリーニングとしてのFGF-21とGDF-15の測定	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 ミトコンドリア脳筋症の診断は、非常に難しく、適当なバイオマーカーも存在しない。我々は、ミトコンドリア病の診断・重症度に有用な新規バイオマーカーであるGDF-15を発見し、特許申請した。この新しい評価法を検証するために、ミトコンドリア病が疑われる患者の検体を用いて、GDF-15並びにFGF-21の測定をサービスで行い、臨床的な貢献を行っている。			
医療技術名	低体温療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 新生児の低酸素性虚血性脳症は1000出生に1-2名発症し、約半数は重症化し、その大半が死亡もしくは高度な神経学的傷害を残す。低体温療法を導入することで、不良予後を約半減させることができるが、細やかな体温管理や、低体温管理中の合併症に対するケアが必要となる。当院では低体温療法に必要な専門家と装備を擁し、年間2-5症例の低体温療法を施行している。			
医療技術名	一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 一酸化窒素吸入療法は、肺血管性高血圧の急性期治療法として最も効果が期待できる薬剤である。当院では高度な呼吸管理を可能とする人工呼吸器を駆使しつつも、肺血管の攣縮により酸素化が十分に得られない児に対して、一酸化窒素吸入療法を24時間体制で提供している。			
医療技術名	消化管術後の諸機能検査	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要 消化管の内圧検査・酸分泌能検査			
医療技術名	肛門部手術	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要 超低位直腸癌や潰瘍性大腸炎などの再建における経肛門吻合術			

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

医療技術名	婦人科がん患者に対するテーラーメイドペプチドワクチン療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 標準的治療に対して抵抗もしくは再発した患者に対し、個々の患者に適したペプチドを投与する テーラーメイドがんワクチン療法を行う			
医療技術名	胎児異常に対する外科的治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 胎児胸水、下部尿路閉塞による尿閉に対し、胎児～羊水腔シャント術を行う			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	84人	・膿疱性乾癬	11人
・多発性硬化症	45人	・広範脊柱管狭窄症	8人
・重症筋無力症	81人	・原発性胆汁性肝硬変	80人
・全身性エリテマトーデス	182人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	20人
・再生不良性貧血	42人	・混合性結合組織病	29人
・サルコイドーシス	116人	・原発性免疫不全症候群	5人
・筋萎縮性側索硬化症	17人	・特発性間質性肺炎	32人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	157人	・網膜色素変性症	7人
・特発性血小板減少性紫斑病	75人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	31人	・肺動脈性肺高血圧症	28人
・潰瘍性大腸炎	230人	・神経線維腫症	17人
・大動脈炎症候群	33人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	26人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	66人	・慢性血栓性肺高血圧症	12人
・脊髄小脳変性症	51人	・ライソゾーム病	11人
・クローン病	99人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	12人	・脊髄性筋委縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	84人	・球脊髄性筋委縮症	2人
・アミロイドーシス	14人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5人
・後縦靭帯骨化症	221人	・肥大型心筋症	13人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	2人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	36人	・ミトコンドリア病	19人
・ウェゲナー肉芽腫症	9人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	44人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	13人	・黄色靭帯骨化症	21人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	6人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	81人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	救急搬送患者地域連携受入加算
歯科外来診療環境体制加算	精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
歯科診療特別対応連携加算	データ提出加算2
特定機能病院7対1入院基本料	救命救急入院料1
臨床研修病院入院診療加算	救命救急入院料4
救急医療管理加算	特定集中治療室管理料1
超急性期脳卒中加算	ハイケアユニット入院医療管理料1
妊産婦緊急搬送入院加算	総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児)・(新生児)
診療録管理体制加算2	新生児治療回復室入院医療管理料
急性期看護補助体制加算	小児入院医療管理料2
療養環境加算	緩和ケア病棟入院料
重症者等療養環境特別加算	精神科急性期治療病棟入院料1
無菌治療室管理加算1・2	
緩和ケア診療加算	
精神科身体合併症管理加算	
摂食障害入院医療管理加算	
がん診療連携拠点病院加算	
栄養サポートチーム加算	
医療安全対策加算1	
感染防止対策加算1	
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
ハイリスク妊娠管理加算	
ハイリスク分娩管理加算	
退院調整加算	
新生児特定集中治療室退院調整加算	
救急搬送患者地域連携紹介加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
高度難聴指導管理料	時間内歩行試験
糖尿病合併症管理料	胎児心エコー法
がん性疼痛緩和指導管理料	ヘッドアップティルト試験
がん患者指導管理料1・2・3	人工臓臓
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	皮下連続式グルコース測定
糖尿病透析予防指導管理料	長期継続頭蓋内脳波検査
外来リハビリテーション診療料	神経学的検査
外来放射線照射診療料	補聴器適合検査
地域連携診療計画策定料	小児食物アレルギー負荷検査
がん治療連携計画策定料	内服・点滴誘発試験
がん治療連携管理料	センチネルリンパ節生検(単独)
認知症専門診断管理料	CT透視下気管支鏡検査加算
肝炎インターフェロン治療計画料	画像診断管理加算1
薬剤管理指導料	遠隔画像診断
医療機器安全管理料1	ポジトロン断層撮影
医療機器安全管理料2	ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
医療機器安全管理料(歯科)	CT撮影及びMRI撮影
歯科治療総合医療管理料	冠動脈CT撮影加算
持続血糖測定器加算	大腸CT撮影加算
造血器腫瘍遺伝子検査	心臓MRI撮影加算
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
検体検査管理加算(I)	外来化学療法加算1
検体検査管理加算(IV)	無菌製剤処理料
遺伝カウンセリング加算	心大血管疾患リハビリテーション料(I)
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
植込型心電図検査	運動器リハビリテーション料(I)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	上顎骨形成術(骨移動に伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
がん患者リハビリテーション料	乳がんセンチネルリンパ節加算2
歯科口腔リハビリテーション料2	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
精神科作業療法	経皮的冠動脈形成術
精神科ショート・ケア「大規模なもの」	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
精神科デイ・ケア「大規模なもの」	経皮的冠動脈ステント留置術
抗精神病特定薬剤治療指導管理料	経皮的大動脈弁置換術
医療保護入院等診療料	経皮的中隔心筋焼灼術
エタノールの局所注入(甲状腺・副甲状腺)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
透析液水質確保加算2	植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
一酸化窒素吸入療法	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
CAD/CAM冠	植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
歯科技工加算	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	補助人工心臓
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	植込型補助人工心臓(非拍動流型)
頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	経皮的大動脈遮断術
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	ダメージコントロール手術
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	体外衝撃波胆石破碎術
羊膜移植術	腹腔鏡下肝切除術
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	生体部分肝移植術
網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
網膜再建術	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	同種死体腎移植術
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	生体腎移植術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
膀胱水圧拡張術	入院時食事療養(I)
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	
胎児胸腔・羊水腔シャント術	
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	
胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	
輸血管管理料 I	
自己生体組織接着剤作成術	
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
歯周組織再生誘導手術	
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
麻酔管理料 I II	
放射線治療専任加算	
外来放射線治療加算	
高エネルギー放射線療法	
1回線量増加加算	
強度変調放射線治療(IMRT)	
画像誘導放射線治療(IGRT)	
定位放射線治療	
保険医療機関間の連携による病理診断	
病理診断管理加算2	
クラウン・ブリッジ維持管理料	
歯科矯正診断料	
顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
※別紙1のとおり				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	

計 128

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		
新規サイトカインIL-38の炎症性肺疾患における役割の解明と新規治療薬	星野 友昭	呼吸器・神経・膠原病内科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アトピー関連脳脊髄・末梢神経障害の病態解明と画期的治療法の開発	星野 友昭	呼吸器・神経・膠原病内科	750,000	補委	厚生労働省
パーキンソン病の画像バイオマーカーの開発	谷脇 考恭	呼吸器・神経・膠原病内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
関節症における骨融解・骨新生を誘導する新しい分子の同定とPS細胞による病態解析	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プロテアソーム活性低下に起因する自己炎症病態の解明	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自己炎症性疾患とその類縁疾患の診断基準、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	1,000,000	補委	厚生労働省
自己炎症性疾患の治療標的分子の同定および薬剤開発基盤の整備	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	1,000,000	補委	厚生労働省
間質性肺炎と薬剤性肺障害における新規バイオマーカーの開発	岡元 昌樹	呼吸器・神経・膠原病内科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アンメットメディカルニーズにおける抗がん薬のPK/PDIに基づく最適化医療の実施	山田 一彦	呼吸器・神経・膠原病内科	1,000,000	補委	厚生労働省
Mast cellによる肺線維化促進メカニズム解析と治療への応用	海江田 信二郎	呼吸器・神経・膠原病内科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
第1番染色体に連鎖する新規遺伝性ニューロパチーの分子基盤解明	三浦 史郎	呼吸器・神経・膠原病内科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
COPDにおける新規サイトカインIL-38の病態生理学的意義の解明	木下 隆	呼吸器・神経・膠原病内科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
B型肝炎ウイルスe抗体陽性無症候性キャリアの長期予後に関する検討	佐田 通夫	先端癌治療研究センター	1,000,000	補委	厚生労働省化学研究費補助金(肝炎等克服実用化研究事業;肝炎等克服緊急対策研究事業)
C型肝炎を含む代謝関連肝がんの病態解明及び治療法の開発等に関する研究	川口 巧	消化器内科	3,000,000	補委	厚生労働省化学研究費補助金(肝炎等克服実用化研究事業;肝炎等克服緊急対策研究事業)
肝細胞癌の腫瘍血管に特異的なマイクロRNAを標的とした血管新生抑制療法の実験	鳥村 拓司	消化器内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金;基盤研究(C))
潰瘍性大腸炎合併大腸癌の早期発見のための分子イメージングの開発	光山 慶一	消化器内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金;基盤研究(C))
肝癌由来TCF-4 isoformにはWnt5z/b発現の分子スイッチが内在する	古賀 浩徳	消化器内科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/基盤研究(C))
炎症性腸疾患および炎症性発癌に対する新規テリバリシステムを用いた治療法の開発	竹田津 英稔	消化器内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/基盤研究(C))
治療標的あるいはバイオマーカーとしてのCGRPの可能性	山崎 博	消化器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/若手研究(B))
大動脈解離病態解明への挑戦: ストレス防御の分子機構とその破綻	青木浩樹	循環器病研究所	1,690,000	補委	文部科学省: 科学研究費助成事業

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		
大動脈解離の分子メカニズム:細胞間相互作用による大動脈壁強度制御機構の解明	青木浩樹	循環器病研究所	3,640,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
心血管病の予防としてのレジスタンス運動プログラムの開発	吉田典子	保健管理センター	2,220,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
血圧変動による高血圧性臓器障害増悪のkey molecule解明	甲斐久史	心臓・血管内科	2,080,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
血管内皮前駆細胞の投与組織環境改善で治療効果の増強を図る次世代型血管新生療法	佐々木健一郎	循環器病研究所	1,430,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
右心不全の発症進展における右室線維化/Rhoキナーゼ経路の関与の解明	福本義弘	心臓・血管内科	1,820,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
慢性腎不全の血管石灰化と内皮機能異常の共通制御の機構解明と治療標的分子の同定	梶本英美	心臓・血管内科	1,560,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
地域住民における食事由来の多価不飽和脂肪酸と腎障害発症・進展に関する疫学的研究	深水亜子	心臓・血管内科	1,820,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
脳梗塞亜急性期における血圧変動の意義:福岡県多施設患者登録システムの検討	福田賢治	心臓・血管内科	1,690,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
拡張型心筋症を呈する心筋特異的SOCS3欠損マウスを用いた心不全の発症機構の解明	安川秀雄	心臓・血管内科	1,820,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
先進的画像診断による肺高血圧症の新たな評価法の確立	田原宣広	循環器病センター	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
大動脈瘤の分子病態におけるIL-6の意義解明と大動脈瘤安定化・治療法の開発	西原通秀	心臓・血管内科	1,820,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
大動脈瘤におけるB細胞機能の解明と次世代の診断治療法開発	古荘 文	心臓・血管内科	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
大動脈解離の病態解明による革新的な薬物療法の開発	西田憲史	心臓・血管内科	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
梗塞後心筋障害における腎交感神経の役割の検討	大場豊治	心臓・血管内科	2,080,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
心筋梗塞における心筋細胞保護の分子機構解析と治療	馬渡一寿	心臓・血管内科	2,080,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
血清フェチリンA値と頸動脈狭窄の前向き疫学研究	大淵 綾	心臓・血管内科	1,040,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
疫学研究における10年間の心電図変化と生活習慣病予防	中村佐知子	心臓・血管内科	780,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
血漿アルドステロン高値はメタボリック症候群進展の予知因子である	野原 夢	心臓・血管内科	2,080,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
アルドステロン高値が心血管イベントの予知因子となる	熊谷英太	心臓・血管内科	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
心筋虚血再灌流障害のSOCS3欠損によるプレコンディショニングの有効性とその役割	永田隆信	心臓・血管内科	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		
薬剤溶出性ステント留置後の内皮機能障害を抽出するためのバイオマーカーの探索	知花英俊	心臓・血管内科	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
血管平滑筋STAT3が大動脈解離を抑制する分子メカニズムの解明	平方佐季	心臓・血管内科	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
心筋梗塞後の心筋リモデリングにおける炎症性サイトカインIL17の役割	佐々木(南)知子	心臓・血管内科	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
急性心筋梗塞の病態における制御性T細胞の役割	高橋基彌	心臓・血管内科	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費助成事業
慢性血栓性肺高血圧症の発症・進展のメカニズムの解明	福本義弘	心臓・血管内科	3,700,000	補委	日本私立学校振興・共済事業団
慢性血栓性肺高血圧症の疾病進展における血管内皮機能・遺伝子発現の検討	福本義弘	心臓・血管内科	1,000,000	補委	公益財団法人 先進医薬研究振興財団
習慣的なコーヒー摂取は、心拍数を減少させ、全死亡を低下させる	足達 寿	地域医療連携講座	1,500,000	補委	一般社団法人 全日本コーヒー協会
動脈硬化の形成・破壊の分子機構とその動脈疾患における役割	青木浩樹	循環器病研究所	1,525,000	補委	公益財団法人 車両競技公益資金記念財団
地域一般住民における骨代謝マーカー血清TRACP-5bと生活習慣病や栄養摂取量との関連についての疫学的検討	深水亜子	心臓・血管内科	800,000	補委	公益財団法人 骨粗鬆症財団
心筋梗塞後の心筋リモデリングにおける炎症性サイトカインIL17の役割	佐々木(南)知子	心臓・血管内科	500,000	補委	石橋学術振興基金
FDG-PET/CTを用いた冠動脈ステント留置部位の分子病態の解明	田原宣広	循環器病センター	1,000,000	補委	公益財団法人 三井生命厚生財団
高血圧治療が脳血流・脳代謝、認知機能におよぼす影響 ~分子イメージングを用いたブロードマン領域別の検討~	本多亮博	心臓・血管内科	1,000,000	補委	公益財団法人 木村記念循環器財団
肺高血圧症に対する肺血管拡張薬が脳血流・脳ブドウ糖代謝、認知機能・生活の質・睡眠におよぼす影響 ~分子イメージングを用いたブロードマン領域別の解析~	井形幸代	心臓・血管内科	1,000,000	補委	公益財団法人 木村記念循環器財団
母体環境が新生仔の腎障害に与える影響についての検討~AGEs-アプタマーの効果~	深水 圭	腎臓内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
CKDモデルラットの腎障害進展におけるGLP-1/DPPIVの役割	安藤 亮太郎	腎臓内科	2,000,000	補委	日本学術振興会
慢性透析患者におけるLOH症候群と動脈硬化に対するカルニチン抑制効果の検討	酒井 和子	腎臓内科	2,100,000	補委	日本学術振興会
縦隔腫瘍取扱い規約に基づく縦隔区分法の評価と画像診断を用いた病期分類の提案と評価	藤本公則	放射線科	1,430,000	補委	文部科学省科学研究費基盤研究(C)
PET/CTと癌増殖シグナル伝達因子を用いた肺癌150例の生存率と予後解析	甲斐田勇人	放射線科	1,560,000	補委	文部科学省科学研究費基盤研究(C)
NASHの3T-MRI Imaging Biomarkerの確立	東南辰幸	放射線科	1,560,000	補委	文部科学省科学研究費基盤研究(C)
睡眠医療及び睡眠研究用プラットフォームPASMを用いて実施する臨床研究ネットワーク、運用システム、リソースの構築に関する研究	内村直尚	神経精神医学	750,000	補委	精神・神経疾患研究開発費(三島和夫班)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		
身体疾患を合併する精神疾患患者の診療の質の向上に資する研究	内村直尚	神経精神医学	1,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金:障害者対策総合研究事業(伊藤弘人班)
内科診療所受診者における睡眠とうつの関連に関する研究(うつと睡眠に関する調査分析業務)	内村直尚	神経精神医学	1,306,000	補委	静岡県受託研究費
外傷性ストレスからの回復過程を予測する客観的指標の探索	大江美佐里	神経精神医学	1,400,000	補委	文部科学省科学研究費補助金:基盤研究(C)
Discriminative learning in the long-term after severeaccidental injury	大江美佐里	神経精神医学	370,000	補委	科学研究振興のためのスイス国家基金 国際共同研究に対する短期滞在研究助成
内科診療所におけるうつ病診療ガイドラインの作成	藤枝 恵	神経精神医学	2,248,095	補委	文部科学省科学研究費補助金:若手研究(B)
「希死念慮を伴ううつ病」のリスク要因に関する研究	藤枝 恵	神経精神医学	530,000	補委	平成26年度田中健記念研究助成事業
ヒトMC1Rシグナルの次世代シーケンシングとChIPアレイによる解析	古村 南夫	皮膚科	1,000,000	補委	文部科学省科学研究費(基盤研究C)
本邦ジューリング疱疹状皮膚炎の血清学的・遺伝学的研究	大畑 千佳	皮膚科	1,200,000	補委	文部科学省科学研究費(基盤研究C)
世界初の新規樹立細胞株による基礎的研究:乳房外パージェット病の抗男性ホルモン療法	辛島 正志	皮膚科	800,000	補委	文部科学省科学研究費(基盤研究C)
3種の病態実験モデルを用いた水疱性類天疱瘡における抗BP230抗体の病原性の検討	石井 文人	皮膚科	1,300,000	補委	文部科学省科学研究費(基盤研究C)
哺乳類細胞発現系組み換え蛋白質を使った天疱瘡のドメイン特異的ELISA法の確立	大山 文悟	皮膚科	1,700,000	補委	文部科学省科学研究費(若手研究B)
腫瘍随伴性天疱瘡における自己免疫発症と水疱形成機序の解明	夏秋 洋平	皮膚科	1,600,000	補委	文部科学省科学研究費(若手研究B)
皮膚エリテマトーデスにおけるループバンドと抗基底膜抗体の相関	永田 寛	皮膚科	1,500,000	補委	文部科学省科学研究費(若手研究B)
皮膚の遺伝関連性希少難治性疾患群の網羅的研究	古村 南夫	皮膚科	1,800,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業):橋本隆班
神経皮膚症候群に関する診療科横断的検討による科学的根拠に基づいた診療指針の確立	古村 南夫	皮膚科	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業):錦織千佳子班
皮膚の遺伝関連性希少難治性疾患群の網羅的研究	大畑 千佳	皮膚科	1,800,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業):橋本隆班
皮膚血管肉腫に対するパゾパニブを用いた術後補助療法ランダム化比較試験	猿田 寛	皮膚科	1,000,000	補委	公益財団法人 がん集学的治療研究財団
非侵襲的手法を用いた重症心身障児における小腸内細菌増殖の病態解明	深堀 優	小児外科	1,200,000	補委	文部科学省:科学研究費補助金:基盤研究(C)
小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	八木 実	小児外科	200,000	補委	厚生労働科学研究費補助金:難治性疾患等政策研究事業(田口智章 研究班)
小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	八木 実	小児外科	200,000	補委	厚生労働科学研究費補助金:難治性疾患等政策研究事業(仁尾正記 研究班)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	佐藤 公昭	整形外科	0	補委	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
難病、頸椎後縦靭帯骨化症特異性タンパク質の発見とそのメカニズムの解明	永田 見生	整形外科	700,000	補委	文部科学省研究費補助金 基盤研究(C)
宇宙空間における筋骨格系廃用萎縮予防法の開発	志波 直人	整形外科	500,000	補委	文部科学省研究費補助金 基盤研究(C)
骨粗鬆症性椎体骨折に対する保存的初期治療の指針策定	佐藤 公昭	整形外科	800,000	補委	厚生労働科学研究委託費 長寿科学研究開発事業
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	平岡弘二	整形外科	550,000	補委	厚生労働科学研究委託費 革新的がん医療実用化研究事業
日本人の人工弁置換術後における抗血小板療法の有効性及び安全性に関する臨床研究	田中啓之	外科	195,000	補委	文部科学省科学研究費(基盤研究C)
ヒト声帯幹細胞と細胞周辺環境(細胞ニッチ)の解明	佐藤 公則	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,400,000	補委	文部科学省
培養口腔粘膜を用いた組織工学的手法による声帯再生	千年 俊一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補委	文部科学省
中咽頭癌における治療効果予測因子としてのYB-1遺伝子の解明	坂崎 友	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	700,000	補委	文部科学省
ヒト声帯粘膜の組織幹細胞の同定と局在	佐藤 公則	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	600,000	補委	石橋助成金
培養口腔粘膜を用いた組織工学的手法による声帯再生	千年 俊一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	500,000	補委	石橋助成金
発達障害時を持つ家族の支援ニーズに基づいたレジリエンス向上に関する研究	山下 裕史朗	小児科	400,000	補委	厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業)
発達障害の包括的診断・治療プログラム開発に関する研究	山下 裕史朗	小児科	1,200,000	補委	精神・神経疾患研究開発費
アウトカム評価とバイオマーカー指標に基づく子どもの心の診療システムの構築	永光 信一郎	小児科	1,400,000	補委	文部科学省:科学研究費基金(基盤研究(C))
小児摂食障害におけるアウトカム尺度の開発に関する研究	永光 信一郎	小児科	400,000	補委	厚生労働科学研究費補助金 (健やか次世代育成総合研究事業)
レット症候群モデル動物及びES/iPS細胞による自律神経システム異常の研究	原 宗嗣	小児科	1,600,000	補委	文部科学省:科学研究費基金(若手研究(B))
ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するビルビン酸ナトリウム治療法の開発研究-試薬からの希少疾病治療薬開発の試み-	古賀 靖敏	小児科	232,847,000	補委	厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患等実用化研究事業(難治性疾患実用化研究事業))
ミトコンドリア病の調査研究	古賀 靖敏	小児科	200,000	補委	厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業))
ミトコンドリア脳筋症MELASの脳卒中様発作に対するタウリン療法の開発	古賀 靖敏	小児科	2,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患等実用化研究事業(難治性疾患実用化研究事業))
ミトコンドリア病診療の質を高める、レジストリシステムの構築、診断基準・診療ガイドラインの策定および診断システムの整備を行う臨床研究	古賀 靖敏	小児科	800,000	補委	厚生労働科学研究委託事業 (難治性疾患等克服研究事業)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		
ミトコンドリア病治療薬のための網羅的機能測定スクリーニングシステムの開発	古賀 靖敏	小児科	1,560,000	補委	文部科学省:科学研究費基金(基盤研究(C))
血漿FGF21はミトコンドリア病の臨床症状を反映できるか?	八ツ賀 秀一	小児科	2,210,000	補委	文部科学省:科学研究費基金(若手研究(B))
胎児不整脈に対する胎児治療の臨床研究	前野泰樹	小児科	1,500,000	補委	厚生労働科学研究費補助金
非侵襲持続モニターによる新生児概日リズムの集学的解明. 生後空白の2か月の謎に迫る	岩田欧介	小児科	1,560,000	補委	文部科学省科学研究費
3唾液検体と体動記録による睡眠リズム獲得過程の徹底解明:科学的発達支援への挑戦	岩田幸子	小児科	3,279,001	補委	文部科学省科学研究費
唾液検体と体動記録による睡眠リズム獲得過程の徹底解明:科学的発達支援への挑戦	岩田幸子	小児科	500,000	補委	石橋財団研究奨励金
一見“正常範囲”の経過から発生する周生期由来の脳機能異常を解明する	津田兼之介	小児科	1,950,000	補委	文部科学省科学研究費
極低出生体重児の超音波検査による早期栄養確立	木下正啓	小児科	1,136,798	補委	文部科学省科学研究費
上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	牛嶋公生	産婦人科	1,500,000	補委	厚生労働省
早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究	牛嶋公生	産婦人科	1,000,000	補委	厚生労働省
トリプルネガティブ乳がんに対するがんペプチドワクチン療法の開発研究	唐 宇飛	外科	1,900,000	補委	文部科学省
直腸癌側方骨盤リンパ節転移の術前診断の妥当性に関する観察研究	赤木由人	外科	300,000	補委	厚生労働省
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第Ⅲ相臨床研究	寺崎 瑞彦	脳神経外科	3,000,000	補委	厚生労働省科学研究費革新的がん医療実用化研究事業補助金(伊東恭悟班)
悪性グリオーマに対するミュータノーム・データベース構築	寺崎 瑞彦	脳神経外科	1,500,000	補委	文部科学省科学研究費:基盤研究(C)
脳梗塞integrated surgical cell therapyの確立	折戸 公彦	脳神経外科	1,300,000	補委	文部科学省科学研究費:基盤研究(C)
交通事故による重症頭部外傷に対する新たな集中治療管理法の開発-薬物血行動態の解析による適切な脳保護治療の開発	森岡 基浩	脳神経外科	980,000	補委	JA共済交通事故医療研究助成
口腔扁平上皮癌における血中循環腫瘍細胞(CTC)の臨床的意義とプロファイル解析	中村 守敏	歯科口腔医療センター	1,170,000	補委	文部科学省科学研究費若手研究(B)
FGF抑制因子Sprouty/Spred によるエナメル上皮腫増殖制御機構の解明	武富 孝治	歯科口腔医療センター	1,820,000	補委	文部科学省科学研究費基盤研究(C)
乳癌における免疫抑制的腫瘍微小環境と免疫学的治療戦略についての検討	関 直子	歯科口腔医療センター	1,560,000	補委	文部科学省科学研究費基盤研究(C)
去勢抵抗性前立腺がんに対する新規がんペプチドワクチン療法開発のための第Ⅰ相・第Ⅱ相(前半)臨床試験(H23-実用化(がん)一般-012)	野口 正典	先端癌治療研究センター	110,696,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額			
ヒトBreg10細胞の同定	溝口充志	免疫学講座	1,690,000	補委	文部科学省:科学研究費基金 (研究活動スタート支援)	
突然変異遺伝子に対する免疫応答の網羅的解析 と新規免疫療法の開発	笹田哲朗	免疫学講座	6,110,000	補委	文部科学省:科学研究費基金 (基盤(B))	
pMHC複合体を認識する抗体の特性と生物学的機能の解明	小松誠和	免疫学講座	1,950,000	補委	文部科学省:科学研究費基金 (若手研究(B))	
HLA領域非コードRNA群の多様性と機能解析	山本 健	医化学講座	11,570,000	補委	文部科学省	
多発性硬化症生体試料バンクを活用したアジア人特有の遺伝環境因子探索による病態解明	山本 健	医化学講座	700,000	補委	厚生労働省	
ヘム生合成経路におけるテトラピロールの構築および環状化のメカニズム	佐藤 秀明	医化学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会	
ヘムオキシゲナーゼと弱い相互作用を示す複合体の立体構造解析	杉島 正一	医化学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会	小計 8
ヘムオキシゲナーゼに関わる蛋白質間相互作用およびCOによるシグナル伝達機構の解明	原田 二郎	医化学講座	650,000	補委	日本学術振興会	合計 128

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合には「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	※別紙2のとおり			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
～				
70				
～				

計 123

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	※別紙3のとおり			
2				
3				
4				
5				
～				

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
1	Jpn J Clin Oncol	2014年4月	Feasibility re-evaluation of 75 mg/m ² docetaxel in Japanese patients with previously treated non-small cell lung cancer.	Yamada K	呼吸器・神経・膠原病内科
2	J Neuroimaging.	2014年11月	Cerebral blood flow reduction associated with orientation for time in amnesic mild cognitive impairment and Alzheimer disease patients.	Yamashita K	呼吸器・神経・膠原病内科
3	Jpn J Clin Oncol	2014年5月	Phase I study of carboplatin combined with pemetrexed for elderly patients with advanced non-squamous non-small cell lung cancer.	Takeoka H	呼吸器・神経・膠原病内科
4	J Thorac Oncol	2015年3月	Significance of programmed cell death-ligand 1 expression and its association with survival in patients with small cell lung cancer.	Ishii H	呼吸器・神経・膠原病内科
5	Respir Investig	2015年3月	Serum level of periostin can predict long-term outcome of idiopathic pulmonary fibrosis.	Tajiri M	呼吸器・神経・膠原病内科
6	Oncotarget	2014年8月	FGFR1 activation is an escape mechanism in human lung cancer cells resistant to afatinib, a pan-EGFR family kinase inhibitor.	Azuma K	呼吸器・神経・膠原病内科
7	Respir Investig	2014年9月	COPD assessment tests scores are associated with exacerbated chronic obstructive pulmonary disease in Japanese patients.	Suetomo M	呼吸器・神経・膠原病内科
8	Oncol Lett	2014年12月	Predictive factors in patients with EGFR mutation-negative non-small cell lung cancer treated with erlotinib.	Ishii H	呼吸器・神経・膠原病内科
9	Jpn J Clin Oncol	2015年3月	Implementation status and explanatory analysis of early advance care planning for Stage IV non-small cell lung cancer patients.	Tokito T	呼吸器・神経・膠原病内科
10	Nutr Cancer	2014年7月	Methylated-(3'')-epigallocatechin gallate analog suppresses tumor growth in Huh7 hepatoma cells via inhibition of angiogenesis	Hashimoto O	消化器内科
11	J Gastroenterol	2014年4月	Possible diagnostic role of antibodies to Crohn's disease peptide (ACP): results of a multicenter study in a Japanese cohort	Mitsuyama K	消化器内科
12	Mol Clin Oncol	2014年5月	Contribution of diuretic therapy with human serum albumin to the management of ascites in patients with advanced liver cirrhosis: A prospective cohort study	Nakamura T	消化器内科
13	Hepatol Res	2014年5月	pen-labeled randomized controlled trial to compare diuretic therapy with recombinant human serum albumin and diuretic therapy for therapeutic treatment of ascites in patients with advanced liver cirrhosis: An exploratory trial	Nakamura T	消化器内科
14	Mol Clin Oncol	2014年5月	Clinical characteristics and prognostic factors for advanced hepatocellular carcinoma with extrahepatic metastasis	Aino H	消化器内科

小計 14

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
15	Clin Gastroenterol Hepatol	2014年6月	Branched-chain amino acids prevent hepatocarcinogenesis and prolong survival of patients with cirrhosis	Kawaguchi T	消化器内科
16	World J Gastroenterol	2014年6月	Evaluation of endoscopic biliary stenting for obstructive jaundice caused by hepatocellular carcinoma	Sugiyama G	消化器内科
17	Ther Apher Dial	2014年6月	Univariate analysis to examine predictors of response to leukocytapheresis in ulcerative colitis patients	Nagayama K	消化器内科
18	Mol Clin Oncol	2014年7月	Evaluation of endoscopic cytological diagnosis of unresectable pancreatic cancer prior to and after the introduction of endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration	Ushijima T	消化器内科
19	Hepatol Res	2014年8月	Serum albumin level is a notable profiling factor for non-B, non-C hepatitis virus-related hepatocellular carcinoma: A data-mining analysis	Yamada S	消化器内科
20	Hepatol Res	2014年9月	Long-term outcome of elderly patients (75 years or older) with hepatocellular carcinoma	Hori M	消化器内科
21	Int J Mol Med	2014年9月	Exendin-4, a glucagon-like peptide-1 receptor agonist, modulates hepatic fatty acid composition and Δ -5-desaturase index in a murine model of non-alcoholic steatohepatitis	Kawaguchi T	消化器内科
22	Dig Dis Sci	2014年9月	Evaluation of endoscopic transpapillary brushing cytology for the diagnosis of bile duct cancer based on the histopathologic findings	Sasaki Y	消化器内科
23	J Gastroenterol Hepatol	2014年10月	CD34+ cell therapy is safe and effective in slowing the decline of hepatic reserve function in patients with decompensated liver cirrhosis	Nakamura T	消化器内科
24	Mol Clin Oncol	2015年1月	Effect of pioglitazone on outcome following curative treatment for hepatocellular carcinoma in patients with hepatitis C virus infection: A prospective study	Sumie S	消化器内科
25	World J Gastroenterol	2015年1月	Diagnosis of early gastric cancer using narrow	Matsuo K	消化器内科
26	World J Gastroenterol	2015年1月	Clinical characteristics and management of gastric tube cancer with endoscopic submucosal dissection	Mukasa M	消化器内科
27	J Gastroenterol	2015年3月	The morbidity and associated risk factors of cancer in chronic liver disease patients with diabetes mellitus: a multicenter field survey	Kawaguchi T	消化器内科
28	Mol Med Rep	2015年3月	Effects of branched-chain amino acids and zinc-enriched nutrients on prognosticators in HCV-infected patients: A multicenter randomized controlled trial	Kawaguchi T	消化器内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
29	Am J Hypertens	2014年12月1日	Plasma renin activity and resting heart rate in a population of community-dwelling Japanese: The Tanushimaru Study.	Adachi H	地域医療連携講座
30	Am J Pathol	2014年4月1日	Pigment epithelium-derived factor improves metabolic derangements and ameliorates dysregulation of adipocytokines in obese type 2 diabetic rats.	Matsui T	糖尿病性血管合併症病態・治療学講座
31	Atherosclerosis	2014年11月1日	Microalbuminuria is an independent prognostic information for cardiovascular disease.	Adachi H	地域医療連携講座
32	Circ J	2014年9月	Large blood pressure variability aggravates arteriolosclerosis and cortical sclerotic changes in the kidney in hypertensive rats.	Aoki Y	心臓・血管内科
33	Diabetes Res Clin Pract	2014年10月	High plasma fetuin-A levels are associated with metabolic syndrome among males but not females in a Japanese general population.	Obuchi A	心臓・血管内科
34	Int J Cardiol	2015年1月	Statin reduces persistent coronary arterial inflammation evaluated by serial 18fluorodeoxyglucose positron emission tomography imaging long after Kawasaki diseases.	Suda K	小児科
35	Int J Cardiol	2015年2月	Persistent peripheral arteritis long after Kawasaki diseases -Another documentation of ongoing vascular inflammation-	Suda K	小児科
36	J Diabetes Invest	2014年12月	Ezetimibe combined with standard diet and exercise therapy improves insulin resistance and atherosclerotic markers in patients with metabolic syndrome	Ohbu-Murayama K	心臓・血管内科
37	JACC Cardiovasc Imaging	2015年1月	Noninvasive evaluation of bone-forming activity within the calcified atherosclerotic lesions by Tc 99m HMDP scintigraphy.	Tahara N	循環器病センター
38	Kidney Int	2015年1月	BMP type I receptor inhibition attenuates endothelial dysfunction in mice with chronic kidney disease.	Kajimoto H	心臓・血管内科
39	Atherosclerosis	2015年2月	Association of serum eicosapentaenoic acid to arachidonic acid ratio with microalbuminuria in a population of community-dwelling Japanese.	Fukami A	心臓・血管内科
40	Circ J	2015年3月	Mitral regurgitation as the cause of atrial tachycardia - 3-dimensional mapping and 3-dimensional transesophageal echocardiography -	Ohe M	心臓・血管内科
41	Circ J	2015年3月	Renal nerve-mediated erythropoietin release confers cardioprotection during remote ischemic preconditioning.	Oba T	心臓・血管内科
42	Clin Exp Hyperten	2015年3月	Benefit of losartan/hydrochlorthizide-fixed dose combination treatment for isolated morning hypertension: the MAPPY study.	Kai H	心臓・血管内科

小計 14

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
43	Eur Heart J	2015年2月	Demonstration of the disease activity by serial carotid artery ultrasonography, magnetic resonance imaging and 18-fluoro-deoxyglucose positron emission tomography in a Behçet's disease patient with carotid artery stenosis.	Igata S	心臓・血管内科
44	Heart and Vessels	2015年3月	Beneficial effects of losartan for prevention of paroxysmal atrial fibrillation in patients with sick sinus syndrome -Analysis with memory function of pacemaker-	Takii E	心臓・血管内科
45	Int J Cardiol	2015年2月	Serum levels of pigment epithelium-derived factor (PEDF) are inversely associated with circulating levels of dipeptidyl peptidase-4 (DPP-4) in humans.	Tahara N	循環器病センター
46	J Clin Endocrinol Metab	2015年2月	Clinical and biochemical factors associated with area and metabolic activity in the visceral and subcutaneous adipose tissues by FDG-PET/CT.	Tahara N	循環器病センター
47	Wolter Kluwer Health Lippincott Williams & Wilkins	2015年1月	Receptor for advanced glycation endproducts and progressive kidney disease	Fukami K	腎臓内科
48	DIABETOLOGY & METABOLIC SYNDROME	2014年8月	Ramipril inhibits AGE-RAGE-induced matrix metalloproteinase-2 activation in experimental diabetic nephropathy	Fukami K	腎臓内科
49	J Dermatol	2014年5月	Late-onset Brooke-Spiegler syndrome with family histories of various cancers.	Matsuda M	皮膚科
50	Dermatol Ther	2014年5月	Combination therapy of fexofenadine and montelukast is effective in prurigo nodularis and pemphigoid nodularis.	Shintani T	皮膚科
51	Exp Dermatol	2014年6月	Distinct protein expression and activity of transglutaminases found in different epidermal tumors.	Karashima T	皮膚科
52	Exp Dermatol	2014年7月	Mutation-dependent effects on mRNA and protein expressions in cultured keratinocytes of Hailey-Hailey disease.	Matsuda M	皮膚科
53	Cutis	2014年7月	Hailey-Hailey disease.	Ohata C	皮膚科
54	Am J Dermatopathol	2014年8月	Molluscum contagiosum with CD30+ cell infiltration in a patient with mycosis fungoides.	Ohata C	皮膚科
55	Int J Oncol	2014年9月	Microarray analysis of gene expression by microdissected epidermis and dermis in mycosis fungoides and adult T-cell leukemia/lymphoma.	Hashikawa K	皮膚科
56	J Dermatolog Treat	2014年9月	Frequent office visits for injections may reduce adalimumab survival rate in patients with psoriasis.	Ohata C	皮膚科
57	Br J Dermatol	2014年9月	Clinical and immunological profiles in 17 Japanese patients with drug-induced pemphigus studied at Kurume University.	Yoshimura K	皮膚科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
58	Acta Derm Venereol	2014年11月	Bullous Pemphigoid in Infancy Showing Epitope-spreading Phenomenon: Recovery with Topical Therapy.	Matsuda M	皮膚科
59	Nat Immunol	2014年11月	Perivascular leukocyte clusters are essential for efficient activation of effector T cells in the skin.	Natsuaki Y	皮膚科
60	J Cutan Pathol	2014年11月	Locations of acantholysis in pemphigus vulgaris and pemphigus foliaceus.	Ohata C	皮膚科
61	Acta Derm Venereol	2015年1月	Anti-laminin-gamma1 pemphigoid developed in a case of autosomal recessive congenital ichthyosis.	Ohzono A	皮膚科
62	Br J Dermatol	2015年1月	Clinical and immunological profiles of 25 patients with pemphigoid gestationis.	Tani N	皮膚科
63	Dysphagia	2014年5月	Analysis of passive motion of para- and retropharyngeal structures during swallowing using dynamic magnetic resonance imaging	Shun-ichi Chitose	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
64	Journal of Parenter Enteral Nutrition	2014年10月	Branched-Chain Amino Acid-Rich Supplements Containing Microelements Have Antioxidant Effects on Nonalcoholic Steatohepatitis in Mice.	Hiroaki Tanaka	小児外科
65	Journal of Pediatric surgery case reports	2014年5月	An infant with pleuropulmonary blastoma type II detected during the prenatal period.	Naruki Higashidate	小児外科
66	Journal of orthopaedic surgery and research. 9(1): 53	2014年	Risk factors for shoulder re-dislocation after arthroscopic Bankart repair.	柴田英哲	整形外科
67	Muscles Ligaments Tendons J. 4(2):182-187	2014年	Novel characteristics of normal supraspinatus insertion in rats: an ultrastructural analysis using three-dimensional reconstruction using focused ion beam/scanning electron microscope tomography.	金澤知之進	整形外科
68	Muscles Ligaments Tendons J. 4(2):201-206	2014年	Tendon-to-bone healing using autologous bone marrow-derived mesenchymal stem cells in ACL reconstruction without a tibial bone tunnel -A histological study.	金澤知之進	整形外科
69	Journal of Shoulder and Elbow Surgery 23(5): 602	2014年	3D-ultrastructural analysis at repaired supraspinatus tendon/bone insertion in rat.	金澤知之進	整形外科
70	Journal of Shoulder and Elbow Surgery	2014年	Cytotoxic effects of corticosteroids, lidocaine and hyaluronic acid on fibroblasts derived from torn human rotator cuff tendon	中村秀裕	整形外科
71	Surg Today	2014年	Technical tips for intersphincteric resection:how to take out the rectum	Yoshito Akagi	外科

小計 14

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
72 Surg Today	2014年	External sphincter resection for lower rectal and anal canal denocarcinoma: achieving anal preservation with oncological	Yoshito Akagi	外科
73 Immunopharmacol Immunotoxicol	2014年	Feasibility study of personalized peptide vaccination for recurrent ovarian cancer patients	Kawano K	産婦人科
74 Gynecologic Oncology	2014年	Nuclear Y-box-binding protein-1 is a poor prognostic marker and related to epidermal growth factor receptor in uterine cervical cancer	Nishio S	産婦人科
75 J Minim Invasive Gynecol	2014年	Validity of intraoperative diagnosis at laparoscopic surgery for ovarian tumors	Takemoto S	産婦人科
76 J Gynecol Oncol	2014年	Prevention of lymphocele development in gynecologic cancers by the electrothermal bipolar vessel sealing device	Tsuda N	産婦人科
77 European Journal of Paediatric Neurology.	2014年7月	A serial 18FDG-PET study of a patient with SSPE who had good prognosis by combination therapy with interferon alpha and ribavirin. European Journal of Paediatric Neurology.	Ohya T	小児科
78 Int J Dev Neurosci	2014年	Dual role of cerebral blood flow in regional brain temperature control in the healthy newborn infant	Iwata S	小児科
79 Eur J Pediatr	2014年	Refractory pulmonary hypertension following extremely preterm birth: paradoxical improvement in oxygenation after atrial septostomy	Saitsu H	小児科
80 Ther Hypothermia Temp Manag	2014年	The Baby Cooling Project of Japan to Implement Evidence-Based Neonatal Cooling	Iwata O	小児科
81 Clin Endocrinol	2015年3月	Distinguishing primary from secondary $\Delta 4$ -3-oxosteroid 5β -reductase(SRD5B1, AKR1D1) deficiency by urinary steroid analysis. Clin Endocrinol (Oxf).	Mizuochi T	小児科
82 J Clin Invest	2014年7月	Biliary repair and carcinogenesis are mediated by IL-33-dependent cholangiocyte proliferation	Mizuochi T	小児科
83 J Inherit Metab Dis.	2014年9月	Liver disease in infancy caused by oxysterol 7α -hydroxylase deficiency: successful treatment with chenodeoxycholic acid.	Mizuochi T	小児科
84 J Clin Invest	2014年11月	Cholestenic acids regulate motor neuron survival via liver X receptors.	Mizuochi T	小児科
85 Nucl Med Commun	2014年	The difference in relationship between 18F-FDG uptake and clinicopathological factors on thyroid, esophageal, and lung cancers.	Kaida H	放射線科
86 Anticancer Res	2014年	Multimodal treatment for t1-2 supraglottic cancer: the impact of tumor location.	Suzuki G	放射線科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
87	Leukemia & Lymphoma	2014年	Relationship between 2-deoxy-2-[(18)F]-fluoro-d-glucose uptake and clinicopathological factors in patients with diffuse large B-cell lymphoma.	Hirose Y	放射線科
88	Oncol Rep	2014年	Proposal for a new mediastinal compartment classification of transverse plane images according to the Japanese Association for Research on the Thymus (JART) General Rules for the Study of Mediastinal Tumors.	Fujimoto K	放射線科
89	Diagn Interv Radiol	2014年	Follow-up of true visceral artery aneurysm after coil embolization by three-dimensional contrast-enhanced MR angiography.	Koganemaru M	放射線科
90	Diagn Interv Radiol	2014年	Management of visceral artery embolization using 0.010-inch detachable microcoils.	Koganemaru M	放射線科
91	Anticancer Res	2014年	Multimodal approach for cervical esophageal carcinoma: role of neoadjuvant chemotherapy.	Suzuki G	放射線科
92	Atherosclerosis	2014年	Positive correlation between malondialdehyde-modified low-density lipoprotein cholesterol and vascular inflammation evaluated by 18F-FDG PET/CT.	Kaida H	放射線科
93	Hell J Nucl Med	2014年	Hypermetabolic pulmonary and bone marrow lesions in a patient with chronic adult T-cell leukemia.	Kaida H	放射線科
94	Advances in Oral Tissue Engineering	2014年	Bone Autografting	JingoKusukawa	歯科口腔医療センター
95	Forensic Sci Int.	2014年4月	Evaluation of point-of-care testing of C-reactive protein in forensic autopsy cases.	副島美貴子	法医学・人類遺伝学講座
96	Clin Chim Acta.	2014年6月	Genetic factors associated with serum haptoglobin level in a Japanese population.	副島美貴子	法医学・人類遺伝学講座
97	Forensic Sci Int.	2014年9月1日	An autopsy case of subarachnoid hemorrhage due to ruptured cerebral aneurysm associated with polycystic kidney disease caused by a novel PKD1 mutation.	副島美貴子	法医学・人類遺伝学講座
98	Oral Dis.	2014年5月1日	Genome-wide association study of degenerative bony changes of the temporomandibular joint.	山本 健	医化学講座
99	J Biol Chem.	2014年5月2日	Chlorophyllide a oxidoreductase works as one of the divinyl reductases specifically involved in bacteriochlorophyll a biosynthesis.	原田 二郎	医化学講座
100	PLoS One	2014年6月30日	Systematic fine-mapping of association with BMI and type 2 diabetes at the FTO locus by integrating results from multiple ethnic groups.	山本 健	医化学講座
101	Diabetes	2014年7月1日	Multiple nonglycemic genomic loci are newly associated with blood level of glycated hemoglobin in East Asians.	山本 健	医化学講座

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
102	Photosynth Res.	2014年7月1日	Isolation and structural determination of C8-vinyl-bacteriochlorophyll d from the bciA and bchU double mutant of the green sulfur bacterium Chlorobaculum tepidum.	原田 二郎	医化学講座
103	Photosynth Res.	2014年7月1日	Isolation and characterization of a new bacteriochlorophyll-c bearing a neopentyl substituent at the 8-position from the bciD-deletion mutant of the brown-colored green sulfur bacterium Chlorobaculum limnaeum.	原田 二郎	医化学講座
104	Oncol Rep.	2014年8月1日	A single nucleotide polymorphism in fibronectin 1 determines tumor shape in colorectal cancer.	山本 健	医化学講座
105	J Mol Biol.	2014年8月1日	Structural basis for the specific recognition of the major antigenic peptide from the Japanese cedar pollen allergen Cry j 1 by HLA-DP5.	山本 健	医化学講座
106	Hum Mol Genet.	2014年10月15日	Meta-analysis of genome-wide association studies in East Asian-ancestry populations identifies four new loci for body mass index.	山本 健	医化学講座
107	Mol Biol Evol.	2014年11月1日	Genome-wide SNP analysis reveals population structure and demographic history of the ryukyu islanders in the southern part of the Japanese archipelago.	山本 健	医化学講座
108	Ann Surg Oncol.	2014年12月1日	Allelic imbalance at an 8q24 oncogenic SNP is involved in activating MYC in human colorectal cancer.	山本 健	医化学講座
109	Genes Immun.	2015年1月1日	Associations of HLA class I alleles in Japanese patients with Crohn's disease.	山本 健	医化学講座
110	J Photochem Photobiol B.	2015年1月1日	The 17-propionate esterifying variants of bacteriochlorophyll-a and bacteriopheophytin-a in purple photosynthetic bacteria.	原田 二郎	医化学講座
111	Biochemistry	2015年1月20日	Distal regulation of heme binding of heme oxygenase-1 mediated by conformational fluctuations.	杉島 正一	医化学講座
112	J Clin Endocrinol Metab.	2015年2月1日	Identification of a Hashimoto thyroiditis susceptibility locus via a genome-wide comparison with Graves' disease.	山本 健	医化学講座
113	Hum Mol Genet.	2015年3月1日	Meta-analysis of genome-wide association studies of adult height in East Asians identifies 17 novel loci.	山本 健	医化学講座
114	Circ J.	2015年3月25日	Heterogeneous effects of association between blood pressure Loci and coronary artery disease in East asian individuals.	山本 健	医化学講座
115	Brain and Development	2014年10月	Relation between circulating levels of GH, IGF-I, ghrelin and somatic growth in Rett syndrome.	Hara, M., Nishi, Y., Yamashita, Y.	小児科 生理学講座 脳・神経
116	CNS Drugs	2014年8月	Clinical trials in acute ischemic stroke.	Kikuchi, K.	生理学講座 脳・神経

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
117	Inflamm Bowel Dis.	2014年5月	Chitinase 3-like 1 synergistically activates IL6-mediated STAT3 phosphorylation in intestinal epithelial cells in murine models of infectious colitis	A. Mizoguchi	免疫学講座
118	Methods Mol Biol.	2014年4月	Regulatory B cells in mouse models of intestinal inflammation.	A. Mizoguchi	免疫学講座
119	J Biochem	2015年2月	Identification and characterization of a cell division-regulating kinase AKB1(associated kinase of Trypanosoma brucei 14-3-3) through proteomics study of the Tb14-3-3 binding proteins	井上雅広	感染医学講座 (真核微生物学)
120	Diabetes Care	2015年1月	Ratio of serum levels of AGEs to soluble form of RAGE is a predictor of endothelial function.	Kajikawa et al.	糖尿病性血管合併症病態治療学講座
121	J Leukoc Biol	2014年12月	Amelioration of experimental autoimmune uveoretinitis by inhibition of glyceraldehyde-derived advanced glycation end-product formation.	Dong Z et al.	糖尿病性血管合併症病態治療学講座
122	Int J Cardiol.	2104年9月	Linagliptin, a xanthine-based dipeptidyl peptidase-4 inhibitor, decreases serum uric acid levels in type 2 diabetic patients partly by suppressing xanthine oxidase activity.	Yamagishi S et al.	糖尿病性血管合併症病態治療学講座
123	INTERNAL MEDICINE 54:459-464,2015	2015年3月	Potential Drug Interaction between Warfarin and Linezolid	Yoshiro Sakai	薬剤部

小計 7
総計
123

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
1 Dig Endosc	2014年4月	Endoscopic bile duct and/or pancreatic duct cannulation technique for the patients with surgically altered gastrointestinal anatomy	Okabe Y	消化器内科
2 Oncol Lett	2014年6月	Usefulness of short-term eltrombopag treatment as a supportive treatment in hepatocellular carcinoma patients with cirrhosis and severe thrombocytopenia: a report of two cases	Kawaguchi T	消化器内科
3 Hepatol Res	2014年10月	Decreased serum levels of immunoglobulin A, immunoglobulin M and immunoglobulin G in a patient with primary biliary cirrhosis: a case report	Kawaguchi T	消化器内科
4 未病と抗老化	2014年	一般住民男性における、血清尿酸値と左室重量係数の関連	吉村彩子	心臓・血管内科
5 心臓	2014年10月	急性心不全治療における持続的血液濾過透析 (continuous hemodiafiltration : CHDF) の有用性と限界	藤山友樹	心臓・血管内科
6 透析会誌	2014年6月	血液透析患者に対する経口・静注L-カルニチン補充療法がカルニチン濃度に与える影響とその効果についての検討	深水 圭	腎臓内科
7 日本腎臓学会誌	2014年7月	エクリブマブ投与により血漿交換を離脱しえた非典型溶血性尿毒症症候群(aHUS)の1例	長田 暁子	腎臓内科
8 透析療法ネクストXV II	2014年7月	血液透析患者におけるカルニチン欠乏と酸化ストレス—AGEs軽減作用への期待—	深水 圭	腎臓内科
9 臨床透析	2014年5月	被嚢性腹膜硬化症にイレウス管挿入による腸重積を合併した1症例	松隈 まき	腎臓内科
10 SpringersPlus	2014年	Donor-derived 47,XXY in an unrelated cord blood transplant recipient	川口 城毅、中村 剛之	血液・腫瘍内科
11 小児科診療2014年増刊号	2014年4月	注意欠陥多動性障害(ADHD)の診断、指導、ペアレントトレーニング	山下裕史朗	小児科
12 発達障害 基礎と臨床	2014年6月	治療・教育の考え方と実際	山下裕史朗	小児科
13 小児保健研究	2014年7月	注意欠陥多動性障害の包括的治療法: サマー・トリートメント・プログラム9年間の実践	山下裕史朗	小児科
14 久留米医学会雑誌	2014年8月	注意欠陥多動性障害(ADHD)の診断と包括的治療法	山下裕史朗	小児科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
15	連携する小児医療—ネットワークケアを展開する	2014年8月	同一性障害の生徒への対応	永光信一郎	小児科
16	精神科治療学29巻増刊号	2014年10月	児童期の支援	山下裕史朗	小児科
17	日経DIクイズ	2014年10月	症例に学ぶ 医師が処方を決めるまで 1. 発達障害	山下裕史朗	小児科
18	別冊日本臨床 神経新領域別症候群シリーズ No.31 神経症候群(第2版)—その他の神経疾患を含めて—VI	2014年12月	Rett症候群とてんかん	松石豊次郎	小児科
19	別冊日本臨床 神経新領域別症候群シリーズ No.31 神経症候群(第2版)—その他の神経疾患を含めて—VI	2014年12月	Eyelid myoclonia with absences	大矢崇志	小児科
20	別冊日本臨床 神経新領域別症候群シリーズ No.31 神経症候群(第2版)—その他の神経疾患を含めて—VI	2014年12月	Menkes病,モリブデン補因子欠損症,てんかん症候群 特異症候群	弓削康太郎	小児科
21	代謝性ミオパチー Basic mechanism, Diagnosis and Practical Approach	2014年5月	ミトコンドリア機能の臨床生化学的評価	古賀 靖敏	小児科
22	代謝性ミオパチー Basic mechanism, Diagnosis and Practical Approach	2014年5月	ミトコンドリア代謝異常症のトピックス	古賀 靖敏	小児科
23	代謝性ミオパチー Basic mechanism, Diagnosis and Practical Approach	2014年5月	ミトコンドリアにおける代謝	古賀 靖敏	小児科
24	代謝性ミオパチー Basic mechanism, Diagnosis and Practical Approach	2014年5月	ミトコンドリア病の診断の進め方	古賀 靖敏	小児科
25	代謝性ミオパチー Basic mechanism, Diagnosis and Practical Approach	2014年5月	ミトコンドリア代謝異常症の臨床的病型による分類 MELAS	古賀 靖敏	小児科
26	代謝性ミオパチー Basic mechanism, Diagnosis and Practical Approach	2014年5月	ミトコンドリア代謝異常症の臨床的病型による分類 Leber病	古賀 靖敏	小児科
27	Clinical Neuroscience 偏桃体—up to date	2014年6月	ミトコンドリア病の新しいバイオマーカー FGF21	ハツ賀 秀一	小児科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
28	引いて調べる 先天代謝異常症	2014年7月	L-アルギニン(MELAS)	古賀 靖敏	小児科
29	心エコーハンドブック 心筋・心膜疾患	2014年12月	ミトコンドリア心筋症・心合併症	古賀 靖敏	小児科
30	日本周産期・新生児医学会雑誌	2014年	周産期脳障害の最前線 子宮内感染症の関与 白質はいつ、だれに破壊されたのか? 低酸素虚血・炎症・低栄養による完全犯罪を暴く	岩田 欧介	小児科
31	周産期医学	2014年	【胎児、新生児の脳機能評価】低体温療法と脳モニタリング 我が国における低体温療法の予後	岩田 欧介	小児科
32	小児科診療	2014年	【災害医学とpreparedness-子どもたちを守るために】災害後の慢性期にかかる対応課題 被災家族と子どもたちを感染症から護る 極限状況でも稼働する感染制御システムをめざして	岩田 欧介	小児科
33	NEONATAL CARE 2014 年春季増刊 新生児の診察・ケア Q&A 早産・ハイリスク編	2014年	徐脈はなぜ生じるのですか。観察と対応のポイントを教えてください	前野 泰樹	小児科
34	NEONATAL CARE 2014 年春季増刊 新生児の診察・ケア Q&A 早産・ハイリスク編	2014年	不整脈はなぜ生じるのですか。観察と対応のポイントを教えてください	前野 泰樹	小児科
35	日本小児循環器学会雑誌	2014年	胎児心エコー検査の初歩	前野 泰樹	小児科
36	NICUマニュアル第5版	2014年	ハイリスク児 主要症候に対する診断学的アプローチ チアノーゼ	前野 泰樹	小児科
37	NICUマニュアル第5版	2014年	心雑音 主要症候に対する診断学的アプローチ チアノーゼ	前野 泰樹	小児科
38	Fetal & Neonatal Medicine	2014年	胎児の頻脈性不整脈	前野 泰樹	小児科
39	ネオネイタルケア	2014年	日常の疑問を徹底解説…なぜ?からわかる体温管理のべからず集	岩田 欧介	小児科
40	今日の治療指針 2014	2014年	新生児疾患:低酸素性虚血性脳症	岩田 欧介	小児科
41	心臓 2014	2014年	母体疾患に関連する胎児心疾患. HRART's Selection 妊婦に伴う循環器疾患	廣瀬 彰子	小児科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
42	NICUマニュアル第5版	2014年	手技 低体温療法	津田兼之介	小児科
43	NICUマニュアル第5版	2014年	手技 超音波断層 脳	木下正啓	小児科
44	肝胆膵	2014年	肝細胞腺腫と限局性結節性過形成—病理とCT・MRIの対比を中心に—	隈部 力	放射線科
45	西日本皮膚科	2014年6月	生後1ヵ月で消退したSolitary Langerhans Cell Histiocytosis(Congenital Self-healing Reticulohistiocytosis)の1例	河野 秀郎	皮膚科
46	日本性感染症学会誌	2014年7月	STI重複感染を示した梅毒の6例	松田 光弘	皮膚科
47	薬理と治療	2015年2月	魚鱗癬におけるリペアクトの臨床効果の検討	大畑 千佳	皮膚科
48	皮膚の科学	2015年2月	水疱性類天疱瘡を合併したX連鎖性劣性魚鱗癬の1例	新谷 貴子	皮膚科
49	Gen Thorac Cardiovasc Surg	2014年8月	Therapeutic strategy for treating aorto-esophageal fistulas	Akashi H	外科
50	血栓と循環	2014年5月	腹部大動脈瘤に関するヨーロッパ血管外科学会ガイドライン	明石英俊	外科
51	日本胆道学会雑誌	2014年5月	肝腸間膜動脈幹起源の総肝動脈が膵頭部実質を貫通していた中下部胆管癌に対し膵頭十二指腸切除を施行した1例	酒井久宗	外科
52	日本心臓血管外科学会雑誌	2014年9月	大動脈-右心房交通をきたした慢性大動脈解離破裂の1例	尼子真生	外科
53	日本心臓血管外科学会雑誌	2014年9月	右鎖骨下動脈瘤に対してハイブリッド治療を応用した1治験例	細川幸夫	外科
54	手術	2014年9月	大静脈再建術(悪性疾患手術などに伴う)	明石英俊	外科
55	日本外科学会雑誌	2014年7月	十二指腸乳頭部癌の外科治療の現況 至適リンパ節郭清範囲、外科的乳頭切除を含めて	安永昌史	外科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
56	外科	2014年	潰瘍性大腸炎に対する外科治療 1.開腹手術VS腹腔鏡補助手術 a)潰瘍性大腸炎に対する外科手術-開腹手術-	衣笠哲史	外科
57	大腸・肛門外科の要点と盲点(第3版)	2014年	大腸癌手術のKnack&Pitfalls;8.括約筋間直腸切除術 (ISR)	衣笠哲史	外科
58	本小児血液・がん学会雑誌	2014年6月	小児Oncologic emergency症例に対する小児外科医の役割の検討-自験例及び本邦223報告例の集計.	深堀 優	小児外科
59	日本小児外科学会雑誌	2014年12月	当科で経験した小児症候性メッケル憩室の臨床的検討.	橋詰直樹	小児外科
60	日本小児外科学会雑誌	2014年6月	横行結腸間膜に癒着・穿破し診断に難渋したメッケル憩室穿孔の1例.	橋詰直樹	小児外科
61	日本小児外科学会雑誌	2014年12月	晩期合併症として発症した先天性十二指腸閉鎖症術後吻合部潰瘍の2例.	升井大介	小児外科
62	WOC Nursing	2014年7月	微量栄養素と創傷治癒	七種伸行	小児外科
63	Nutrition Care	2014年8月	電解質について理解しよう! 体液と電解質	浅桐公男	小児外科
64	栄養 評価と治療	2014年8月	経腸栄養と微量元素	田中芳明	小児外科
65	日本整形外科学会スポーツ医学会雑誌	2014年	若年者(中学生・高校生)の腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下椎間板摘出術の短・中期成績	佐藤公昭	整形外科
66	整形外科と災害外科	2014年	小児の環軸椎回旋位固定の保存的治療のアルゴリズムの検討	山田 圭	整形外科
67	Kurume Med J	2014年	Pyogenic arthritis of the knee caused by Group-A β -Hemolytic Streptococcus: A toxic-shock prevented case	後藤昌史	整形外科
68	J. Spine Res	2014年	後日損傷が判明した頸椎・頸髄損傷例の検証	吉松弘喜	整形外科
69	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌(JOSKAS)	2014年	外側半月横断裂・後角部損傷に対する半月縫合術 MRI上のmeniscal extrusionにおける正常集団との比較	田淵幸祐	整形外科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
70	Kurume Med J 2014	2014年	Clinical results of the Cadenat procedure in the treatment of acromioclavicular joint dislocation	森山弘朗	整形外科
71	臨床眼科	2014年5月15日	網膜色素変性に黄斑分離を生じ硝子体手術を行った1例	大島 寛之	眼科
72	臨床眼科	2014年5月15日	網膜色素変性に伴う嚢胞様黄斑浮腫に炭酸脱水素酵素阻害薬の点眼加療が有効と思われた1例	春田 雅俊	眼科
73	臨床眼科	2014年7月15日	IOL縫着術後にIOL摘出と再縫着を施行したMarfan症候群の2例	松尾 優	眼科
74	眼科臨床紀要	2014年8月15日	観血的な瞳孔膜切除術を施行した高度な瞳孔膜遺残の1例	佛坂 扶美	眼科
75	眼科手術	2014年10月30日	裂孔原性網膜剥離の治療のために高度な瞳孔膜遺残の観血的切除術と硝子体手術を施行した1例	勝目 茉紗子	眼科
76	産科と婦人科	2014年	婦人科がんに対するテーラーメイドペプチドワクチン療法	河野光一郎	産婦人科
77	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌	2014年	当科における腹腔鏡下手術の検討	竹本周二	産婦人科
78	Kurume Med J	2014年	Prognosis of pregnant women with one abnormal value on 75g OGTT	Kozuma Y	産婦人科
79	日本周産期・新生児医学会雑誌	2014年	妊娠糖尿病の産褥1カ月の耐糖能変化とインスリン分泌能に関する検討	井上 茂	産婦人科
80	JOHNS	2014年4月	睡眠呼吸障害に対する治療法 -口腔内装置治療-	佐藤 公則	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
81	音声言語医学	2014年4月	機能性発声障害に対する音声治療効果の検討	香田 千絵子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
82	喉頭	2014年12月	喉頭粘膜上皮の分布特性からみた喉頭乳頭腫の発生機序	栗田 卓	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
83	耳鼻咽喉科展望	2014年12月	咽喉頭疾患に対するTransoral CO2 laser microsurgery	梅野 博仁	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題名	発表者氏名	所属部門
84	喉頭	2014年6月	甲状軟骨形成術Ⅱ型成功のための前交連周囲の臨床組織解剖	佐藤 公則	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
85	JOHNS	2014年9月	リハビリテーション科の医師から嚥下障害患者の外科治療を依頼された。嚥下機能改善手術と誤嚥防止手術のどちらが適応？	千年 俊一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
86	喉頭	2014年12月	診断が困難な喉頭疾患, 喉頭室癌について	小野 剛治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
87	日本気管食道科学会「専門医通信」	2014年11月	下咽頭癌・食道重複癌の取り扱い -診断・治療・予後-	前田 明輝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
88	日本レーザー医学会誌	2014年4月	難治性不妊症に対する低反応レベルレーザー治療の検討	王丸陽光	形成外科・顎顔面外科
89	久留米医学会雑誌	2014年6月	先天性色素母斑に対するレーザー複合療法の臨床効果と組織学的効果の検討	王丸陽光	形成外科・顎顔面外科
90	日本形成外科学会誌	2014年10月	頸部放射線性皮膚炎に対するHe-Neレーザーを用いた低反応レベルレーザー治療の有効性の検討	王丸陽光	形成外科・顎顔面外科
91	日本口腔外科学会雑誌	2014年	ビスフォスフォネート製剤休薬による尿中I型コラーゲン架橋C-テロペプチド値の変動について	岩本 修	歯科口腔医療センター
92	頭頸部癌	2014年	口腔表在癌の治療	岩本 修	歯科口腔医療センター
93	Leg Med (Tokyo).	2015年1月	Haptoglobin genotyping of Vietnamese: global distribution of HP del, complete deletion allele of the HP gene.	副島美貴子	法医学・人類遺伝学講座
94	Journal of Endocrinology	2015年1月	Identification of activated protein-c as a ghrelin endopeptidase in bovine plasma.	Satou, M., Nishi, Y., Sugimoto, H.	生理学講座 脳・神経
95	日本医師会雑誌	2014年4月	診療に必要な炎症性腸疾患の病態の知識	溝口 充志	免疫学講座
96	Respirology case report	2015年3月	A case of pulmonary cavernous hemangioma	Miyamoto U Tominaga.M	地域医療連携講座
97	日本急性血液浄化学会雑誌	2014年8月6日	血液浄化装置の構造が重炭酸血液濾過用補充液の気泡発生量に与える影響についての基礎的検討	山香 修	臨床工学センター

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	発行年月日	題 名	発表者氏名	所属部門
98	日本手術看護学会誌	2014年6月	小児手術に同伴する母親が手術室看護師に求める看護ケア	藤野 雅子	中央手術部
99	日本病院薬剤師会雑誌 第50巻5号 (589-592) 2014年	2014年5月	少量シスプラチン連日投与における先発医薬品と後発医薬品の腎障害の比較	高橋誠	薬剤部
100	日本病院薬剤師会雑誌 第50巻7号 (865-870) 2014年	2014年7月	電子カルテ導入に伴う持参薬鑑別業務の拡大と薬剤師および看護師による持参薬鑑別不備比較	有馬千代子	薬剤部

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 手順書の主な内容 審査対象、申請手順、審査区分など	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 規定の主な内容 産学官連携活動における利益相反を適正にマネジメントすること	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
・ 研修の主な内容 研究倫理に関するコンプライアンス研修会を年1回以上実施している。	

(様式第4)(別紙1) 高度の医療に関する臨床研修の実施

No.	診療科	研修内容	統括者氏名	
			診療科	氏名
1	内科	上部内視鏡検査	消化器内科	鳥村 拓司
		腹部エコー検査		
		心臓カテーテル検査、冠動脈形成術、末梢動脈形成術	心臓・血管内科	福本 義弘
		心エコー・経食道エコー検査		
		ペースメーカー・除細動器植え込み術、心臓再同期療法術		
		血液透析を含む血液浄化に関する研修	腎臓内科	深水 圭
		ソマトスタチンアナログと人工膵臓によるインスリン抵抗性と膵β細胞機能の評価	内分泌代謝内科	山田 研太郎
		エコーガイド下における甲状腺腫瘍に対する穿刺吸引細胞診		
3	小児科	小児不整脈に対するカテーテルアブレーション治療	小児科	古賀 靖敏
		重症新生児仮死に対する脳低温療法		
		心房中隔欠損症に対するカテーテルアンブラツター治療		
		Rett症候群に対するグレリン治療		
		ミトコンドリア脳筋症に合併する高乳酸血症に対するピルビン酸ナトリウム治療法		
4	整形外科	整形外科疾患に対する診察診断技術と術式の研修、周術期の管理	整形外科	志波 直人
5	形成外科・顎顔面外科	形成外科基本的理論研修(創傷治療、皮膚切開、皮膚縫合、真皮縫合、探皮、植皮)	形成外科・顎顔面外科	清川 兼輔
		形成外科基本的手術手技の研修(局所麻酔手術の執刀)		
6	脳神経外科	脳血管撮影	脳神経外科	森岡 基浩
		穿頭手術		
7	外科	一般外科・小児外科研修	小児外科	八木 実
		3D-CTにて3D画像の作成、肝容積の計測、腹部超音波エコー検査、経皮経肝的ドレナージ術	外科	奥田 康司
		ABI検査		田中 啓之
8	皮膚科	皮膚科学の各論および基本的手技に関する研修	皮膚科	名嘉真 武国
9	泌尿器科	腹部エコー検査、透視下造影検査	泌尿器科	井川 掌
10	産婦人科	産科周産期研修	産婦人科	牛嶋 公生
11	眼科	眼科基本的診察および治療の学習	眼科	山川 良治
		網膜光凝固術などの眼科処置の習得		
12	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	耳鼻咽喉科疾患に対する診察診断技術と手術の研修、周産期の管理	耳鼻咽喉科	梅野 博仁
13	放射線科	MRI・CTの総合的画像診断学理解と読影手技の研修	放射線科	安陪 等思
		放射線治療の位置決め並びに治療の理解研修に関する研修		
		核医学の読影手技と適応疾患と核種の理解に関する研修		
14	歯科口腔医療センター	口腔外科手術手技勉強会	歯科口腔医療センター	楠川 仁悟
15	麻酔科	手術麻酔(術中麻酔管理)	麻酔科	牛島 一男
16	高度救命救急センター	救急医療	高度救命救急センター	坂本 照夫

研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職	臨床経験年数	特記事項
星野 友昭	呼吸器・神経・膠原病内科	診療部長	26	
谷脇 考恭		診療部長	30	
井田 弘明		診療部長	27	
鳥村 拓司	消化器内科	診療部長	32	
福本 義弘	心臓・血管内科	診療部長	24	
深水 圭	腎臓内科	診療部長	22	
山田 研太郎	内分泌代謝内科	診療部長	37	
長藤 宏司	血液・腫瘍内科	診療部長	26	
内村 直尚	精神神経科	診療部長	32	
古賀 靖敏	小児科	診療部長	39	
赤木 由人	外科	診療部長	28	
田中 啓之		診療部長	33	
志波 直人	整形外科	診療部長	32	
清川 兼輔	形成外科・顎顔面外科	診療部長	31	
森岡 基浩	脳神経外科	診療部長	29	
八木 実	小児外科	診療部長	32	
名嘉真 武国	皮膚科	診療部長	27	
井川 掌	泌尿器科	診療部長	26	
牛嶋 公生	産婦人科	診療部長	31	
山川 良治	眼科	診療部長	35	
梅野 博仁	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療部長	26	
安陪 等思	放射線科	診療部長	30	
楠川 仁悟	歯科口腔医療センター	診療部長	27	
牛島 一男	麻酔科	診療部長	36	
坂本 照夫	高度救命救急センター	センター長	37	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況 (任意)
② 業務の管理に関する研修の実施状況 (任意)
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績(計画)を報告しても差し支えないこと(その場合には、その旨を明らかにすること)。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="radio"/> 2. 現状 <input checked="" type="radio"/>
管理責任者氏名	病院長 坂本 照夫
管理担当者氏名	診療関係 各診療科部長(別紙) 管理関係 事務部長 小河 和弘

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、 看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、 退院した患者に係る入院期間中の診療経過要約 及び入院診療計画書	医療情報センター診療 情報管理部門 セミアクティブカルテ室 病院資料室 各診療科の医局及 び資料室 外部倉庫	①紙媒体(入院):平成15年4月1日以降に退院した患者の 診療録及び診療諸記録に関しては、ID番号を付与しターミ ナルデジット方式にて医療情報センター診療情報管理部 門及び外部倉庫で保管。エックス線写真は各外来診療科・ セミアクティブカルテ室(総合診療棟3階)・各診療科の医局 及び資料室で保管。平成15年3月31日以前に退院した患 者の診療録及び診療諸記録に関しては、各診療科独自の 管理番号付与方式にて各診療科の医局及び資料室・外部 倉庫にて保管。 (外来):最終受診日から1年以内の診療録及び診療諸記 録に関しては、ID番号を付与し、ターミナルデジット方式に て各外来診療科にて保管。1年以上経過した診療諸記録 に関しては、ターミナルデジット及び各診療科独自の管理 番号を付与し、セミアクティブカルテ室(病院本館西2階・総 合診療棟3階)・各診療科の医局及び資料室・外部倉庫に て保管。 ②電子媒体(入院/外来共通) 平成25年10月1日以降に発生する診療録及び診療諸記録 は、入院・外来ともに電子媒体に保管。

病院の管理及び 運営に関する諸 記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院管理課	
	高度の医療の提供の実績	病院管理課	
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	病院管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院管理課	
	閲覧実績	病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供 の実績	病院管理課	
	入院患者数、外来患者及び 調剤の数を明らかにする帳簿	病院経営室 及び薬剤部	
	第一号第一に掲げる十一 制第一項の各状況及び 第九條の二十三第一 項	医療に係る安全管理のための 指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための 委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための 職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の 医療に係る安全の確保を目的と した改善のための方策の状況	医療安全管理部
		専任の医療に係る安全管理を 行う者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を 行う者の配置状況	感染制御部
	医療に係る安全管理を行う 部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理 に係る相談に適切に応じる体制の 確保状況	医療安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	久留米大学HP 感染関連マニュアル集
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部
		医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	薬剤部長事務取扱
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	手順書…各部署 実施状況…薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	手順書…各部署 実施状況…薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器管理責任者 山下典雄 (臨床工学センター長)
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター 画像診断センターA 放射線治療センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター 画像診断センター 放射線治療センター 核医学検査室 心臓カテーテル検査室
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター 画像診断センターA

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

管理担当者一覽

診療科	管理担当者氏名	診療科	管理担当者氏名
呼吸器・神経・膠原病内科	星野 友昭	泌尿器科	井川 掌
消化器内科	鳥村 拓司	産婦人科	牛嶋 公生
心臓・血管内科	福本 義弘	眼科	山川 良治
腎臓内科	深水 圭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	梅野 博仁
内分泌代謝内科	山田 研太郎	放射線科	安陪 等思
血液・腫瘍内科	長藤 宏司	歯科口腔医療センター	楠川 仁悟
精神神経科	内村 直尚	麻酔科	牛島 一男
小児科	山下 裕史朗	高度救命救急センター	坂本 照夫
外科	赤木 由人	呼吸器病センター	星野 友昭
	田中 啓之	消化器病センター	鶴田 修
整形外科	志波 直人	循環器病センター	田中 啓之
形成外科・顎顔面外科	清川 兼輔	内科総合外来	山田 研太郎
脳神経外科	森岡 基浩	乳腺外科・一般外科総合外来	赤木 由人
小児外科	八木 実	薬剤部	八木 実
皮膚科	名嘉真 武国		

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1.計画 ②現状	
閲覧責任者氏名	病院長 坂本 照夫	
閲覧担当者氏名	診療関係 各診療科部長(別紙) 管理関係 事務部長 小河 和弘	
閲覧の求めに応じる場所	第3会議室	
閲覧の手続の概要		
「病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧請求書」を提出していただき、病院長決裁後、第3会議室にて閲覧。		

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

閲覧担当者一覧

診療科	管理担当者氏名	診療科	管理担当者氏名
呼吸器・神経・膠原病内科	星野 友昭	泌尿器科	井川 掌
消化器内科	鳥村 拓司	産婦人科	牛嶋 公生
心臓・血管内科	福本 義弘	眼科	山川 良治
腎臓内科	深水 圭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	梅野 博仁
内分泌代謝内科	山田 研太郎	放射線科	安陪 等思
血液・腫瘍内科	長藤 宏司	歯科口腔医療センター	楠川 仁悟
精神神経科	内村 直尚	麻酔科	牛島 一男
小児科	山下 裕史朗	高度救命救急センター	坂本 照夫
外科	赤木 由人	呼吸器病センター	星野 友昭
	田中 啓之	消化器病センター	鶴田 修
整形外科	志波 直人	循環器病センター	田中 啓之
形成外科・顎顔面外科	清川 兼輔	内科総合外来	山田 研太郎
脳神経外科	森岡 基浩	乳腺外科・一般外科総合外来	赤木 由人
小児外科	八木 実	薬剤部	八木 実
皮膚科	名嘉真 武国		

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容：1.安全管理に係る基本的考え方 2.安全管理のための委員会、その他医療機関内の組織に関わる基本的事項 3.安全管理の職員研修に関わる基本方針 4.事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした方針に関する基本方針 5.医療事故発生時の対応に関する基本方針 6.患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7.患者からの相談への対応に関する基本方針 8.その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12回
・ 活動の主な内容：医療安全管理対策委員会 医療の安全管理の啓蒙、普及、徹底、評価のための必要な事項 インシデントおよび事故事例報告と再発防止対策の策定、巡回確認 各下部委員会と連携	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 15回
・ 研修の主な内容：TQM講習会(安全・感染)毎月1回、その他臨時実施 「医薬品の安全使用について」、「患者の権利、医療倫理、個人情報保護法」 「医療事故、ヒヤリ・ハットの収集・分析と無過失補償による紛争の解決につ いて」、「異状死届・死亡診断書について」 「活動報告：肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症予防患者説明用紙作成」	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：委員会巡回確認 委員会での再発防止策の策定 職員研修 安全情報(日本医療機能評価機構、医療事故情報等)からポスター作製 委員会報告	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(3名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(5名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員：専任(7)名 兼任(5)名 ・ 活動の主な内容：医療安全管理対策の推進 医療安全各委員会企画・運営 事故等に関する診療録や看護記録への記載についての、確認及び指導に関すること 患者や家族への説明や事故発生時の対応状況についての、確認及び指導に関すること 事故等の原因究明が適切に実施されていることについての、確認及び指導に関すること 医療安全に係る連絡調整に関すること	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	(有) ・ 無
・指針の主な内容: 1.医療関連感染対策に関する基本的な考え方 2.委員会等の組織に関する基本的事項 3.職員研修に関する基本方針 4.感染発生状況の報告に関する基本方針 5.感染発生時対応に関する基本指針 6.指針の閲覧に関する基本方針 7.その他医療関連感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容 : VRE積極的監視培養の結果報告、ICTからの活動報告(抗生剤適正使用状況監視・サーベイランス結果報告・針刺し・切創報告・ICT活動(週1回程度の病棟ラウンド)状況・LN会活動状況報告等)	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 41 回
・ 研修の主な内容 : 標準予防策、経路別感染予防対策、手指衛生、抗生剤適正使用、針刺し・切創対策など	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	(有) ・ 無)
・ 病院における発生状況の報告等の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容: 血培陽性者および感染症法に定められた感染症に関する菌(耐性菌)・ウイルスに関しては平日、感染制御部スタッフが電子カルテ上で確認、その都度アウトブレイク対応表に準じてICD/ICNが介入している。また、今年より検査部門・全入院患者部門・NICU部門においてJANISに参加している。耐性菌発生時は状況に応じて、保健所や九州厚生局などへの報告を行っている。院内感染対策推進としては、院内でICT/LN活動を積極的に行い、病棟出張勉強会にも力を入れている。また院外では地域病院と連携し研修・講習会等を実施している。	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 : 平成27年4月24日 第114回 久留米大学病院TQM講習会 「医薬品の安全使用について」	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有 ・ 無)	
・ 業務の主な内容 : ○病棟・外来の定数配置薬の管理状況の定期的チェック(数、有効期限) ○麻薬・向精神病薬の管理状況の巡回 ○手順書遵守状況の確認(ダブルチェック、指示出し・指示受け等)	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)	
・ その他の改善のための方策の主な内容: ○日本医療機能評価機構の医療安全情報を電子カルテ上に載せ、各病棟に配布し、医師・看護師等に周知徹底を図る。 ○PMDAからの医薬品適正使用のお願いを電子カルテ上に載せ、使用する病棟・外来に配布。 ○安全性速報等、緊急性のある医薬品情報は、電子カルテ上に載せ病棟・外来に配布するとともにオーダーリング掲示板、電子カルテメッセージを全職員に送信し、リアルタイムに情報を提供している。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
・ 研修の主な内容 :	
MRI装置の磁場体験 放射線治療装置の精度管理と線量測定法	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)	
・ 保守点検の主な内容 :	
始業点検 メーカーによる定期点検 自主点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)	
・ その他の改善のための方策の主な内容:	
X線装置の自動露出機構の点検(撮影線量の適正化) パルス透視を行うことで、被ばく線量の低減 新しく装置を設置した際に説明会の実施	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 12 回
・ 研修の主な内容： ① 人工呼吸器：患者さんに安全な人工呼吸器療法及び構造、アラームおよび対処法 ② 閉鎖式保育器：保育器管理におさえておきたい基本 ③ 血液浄化装置：血液浄化の安全管理、緊急時及びアラーム時の対処について ④ 人工心肺装置及び補助循環装置：安全な取扱い、緊急時の対処法、日常の管理について ⑤ 除細動装置：基本的な構造及び使用方法、日常点検、注意事項について	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有) ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： 人工呼吸器、閉鎖式保育器、血液浄化装置、人工心肺装置及び補助循環装置、除細動装置については年に1回の定期点検及び必要な部品の交換、日常の保守管理を行っている。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器安全情報については多方面より情報の収集を行い、より重要な情報については 医療機器管理小委員会、医療安全管理対策委員会に報告。また、各病棟・外来、関係講座に「安全情報」として電子カルテ上に掲載することにより院内への周知をおこなっている。	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 平成27年8月7日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 クリニカルインディケーター (CI) を久留米大学病院のHPに掲載。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ・ 消化器病センター (消化器内科・消化器外科)、循環器病センター (心臓血管外科・心臓・血管内科)、呼吸器病センター (呼吸器外科・呼吸器内科) を外来部門に設置している。 ・ キャンサーボードを開催し、がん治療の診療方針の検討等を行っている。	